

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成26年度）

施設	名称	栃木市勤労者体育センター
	所在地	栃木市日ノ出町14番36号
	施設内容	勤労者をはじめとする市民の健康保持増進とスポーツの振興を図るための施設
指定管理者	名称	環境整備株式会社
	所在地	宇都宮市岩曽1333番地
	主な業務内容	総合ビルメンテナンス

(1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み

評価項目	①	当該施設の設置目的に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員（社員）が適切に理解しているか					
	②	市民の誰もが利用しやすいように、施設利用の利便性、平等性の確保に配慮されているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、それらを反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者からの苦情等に対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	新規利用団体数の増加		8団体以上	9団体			
	アンケート数		180件(2回)	191件(2回)			
	利用者意見反映数		3件	4件			
	利用案内掲示数		3か所	3か所			
	利用者からの苦情		0件	0件			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	0.8	20
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営にあたっては、運営の基本方針に基づき全ての業務を遂行しています。 利用予約一覧表を作成し、新規団体も含め利用団体に配布し平等に利用できるように配慮しています。 館内に意見箱を設置し、利用者からの意見要望に耳を傾け所管課に報告・相談をして誠実に対応しています。また、年2回利用者へアンケートを実施し、運営や業務改善に生かしています。 						
	【アンケートによる改善】						
	1. 施設・設備などに対する意見要望への対応						
	①館内の照明をすべて点けてほしいとの要望に対しては、できる限り最短で修繕を実施しました。						
	②ソファにガムテープが貼ってあり、みっともないの意見にはカバーを掛けて改善しました。						
	③壊れている卓球台を修理してほしいとの要望には、簡易な修理については職員で修理を実施しました。						
	④器具庫のドアが重くて開かないの意見に対しては、職員2名により修理し改善しました。						
	⑤女子トイレの改善については、業者から見積もりを取ったが経費の面で実施できず再度検討する事とした。						
	【自主改善】						
	①高齢者の利用者の方が、靴の履き替え時に転んで怪我をしないように下駄箱の横に椅子を設置し、利用者の方々から大変喜ばれています。						
②冬場ブーツを履いて来館する利用者のために、下駄箱の仕切りを広げて収め易いようにしました。							
③利用者がロビーで休憩する時に、ソファだけでは足りないようなので椅子を用意し15人位は座れるようにしました。							
④アリーナ内窓下の防護板が割れてしまったので、利用者と共同で修理を実施しました。							
<ul style="list-style-type: none"> 利用者からの苦情 ・26年度は、利用者等からの苦情は0件でした。 							

施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・施設に対する意見や要望に対しては、直ぐに対応できるものについては対応し、直ぐに対応できないものについては、利用者に丁寧に説明するなど適切な対応ができています。また、職員が自主的に気付いた点を改善するなど評価できる。 ・利用者増加のためのより一層の工夫した取り組みにより、さらに、利用者の増加とサービスの向上に努めていただきたい。
-----------	--

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み

評価項目	① 事業計画通りに管理運営をしているか
	② 特色ある広報活動等により、新規利用者の増加に向けた、効果的な取り組みを行っているか
	③ 開館時間の延長や新規事業の実施等により、利用者の増加に向けた、効果的な取り組みを行っているか
	④ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名	計画値	実績値
	利用者数	42,000人	31,862人
	特色ある事業(第4回ソフトバレーボール大会実施)	1回	1回
	利用者増による取組み	5%増	-24.1%
	地域住民への対応(毎月第3日曜日の無料開放【家庭の日】)	12回	12回

評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6	12

指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の状況 前年比 平成26年度 31,862人 (-10,119人) 平成26年度 905,770円 (+21,530円) 平成25年度 41,981人 (+829人) 平成25年度 884,240円 (-29,230円) (参考:指定管理以前20,368人) (参考:指定管理以前417,970円) ・利用料金の状況 前年比
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者人数は、前年度と比較して10,119人の減少となってしまいましたが、主な要因としては中学校のバスケットボール部の練習で使用していた回数が、大幅に減少したためです。そこで利用者の拡大を図るため、体育センターの利用案内パンフレットを作成し24箇所(500部)に配布および設置をしていただく対応をしました。利用料金については逆に前年度と比較して21,530円増加となっております。要因としては、新規利用団体を増やしたことが大きかったと考えられます。 ・第4回ソフトバレーボール大会を10チームの参加を得て実施しました。参加者からも今後も引き続き実施してほしいとの要望があり27年度も継続実施いたします。

施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は前年度比で減少したが、新規利用の増加により収入金額は増加しており、安定した管理運営を行っている。 ・きれいに清掃され清潔に保たれており、また、整理整頓も行き届いており、引き続き適切な管理を期待する。 ・ソフトバレーボール大会の開催等評価できるが、さらに、スポーツの交流を通じた婚活事業等について検討していただきたい。
-----------	--

(3) 施設経費の削減の取組み

評価項目	①	指定管理料等の収支手続きは適切に行っているか					
	②	経費の削減がサービス低下につながっていないか					
	③	清掃、警備、施設の保守点検などを一部再委託する場合、経費節減等を考慮して適切に行っているか					
	④	建物、設備、備品の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮も適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	利用料金の目標達成			900,000円	905,770円		
	見積もり合せの実施回数			都度2社	都度2社実施		
	設備・備品の更新数			2回	2回		
	電気料・水道料の節電&節水			5%	5.5%		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金については、毎月所管課に帳簿等を提出し検認を受けており適正に処理しております。また、指定管理料についても、不明な点は所管課に相談するなどして適正な収支手続きを実施しています。 ・見積もり合せ等により経費の節減を実施し、弊社の総合ビルメンテナンス業のノウハウを生かして適切に対応しています。 ・設備については、水銀灯の2基の修繕工事と、火災報知機のアリーナ天井の感知器6台の交換工事を実施しました。 ・外灯の点灯と消灯を季節に合わせて変更し、節電に努めました。 ・節電、節水については、ポスターを掲示し利用者の皆様にご協力は頂きますが、夏場のエアコンについては、外気温度と室内温度をチェックしながら設定温度をこまめに調整し、熱中症予防に努めておりますのでサービス低下にはつながっておりません。 						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・収支手続きについては、適正に処理されている。 ・施設の修繕や備品の管理等適切に実施するとともに、利用者に不便をかけない節電対策により、適切な経費節減が図られている。 ・備品等、利用者の意見に耳を傾け、職員で修繕できるものについては修繕し、常にコスト意識を持ち管理している。 ・今後も引き続き、職員が一丸となって、施設経費の節減に取り組むとともに、利用者増加を図りコスト比率の低減に努めていただきたい。 						

(4) 施設の管理を安定して行う能力

評価項目	①	管理運営する為の職員等配置や組織体制が確保されているか					
	②	職員（社員）の指導育成、研修等が十分に確保されているか					
	③	健康保険料・厚生年金保険料及び各種税金は適切に納められているか					
	④	財政状況に異常はないか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	適正人員の配置			5名	5名		
	職員の資質向上(OJT・研修)			12回	12回		
	社会保険等の適切納付			100%	100%		
	会社の財政状況			100%	100%		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	II	0.8	16
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営に必要な人員配置と、もしもの時の職員欠員時の緊急応援体制を構築し運営しております。 ・職員の資質向上を図るために、月1回の会社の責任者会議での実務研修(利用者への挨拶、言葉使いの確認等)を職員全員に徹底させるOJTを月1回実施しています。 ・健康保険料、厚生年金保険料の滞納は無く、各種税金も適切に納付しています。 ・会社の財政状況は健全です。 						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況については、経常収支比率からみて問題なく、主にビルメンテナンス業を営む企業であるため、十分な管理能力があると認められる。 ・管理運営に関し、担当職員、営業所、本社との連携が図られているとともに、欠員時の応援体制も確立されており、安定して管理運営をしている。 						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み

評価項目	①	日常の事故防止等のための安全対策が適切に行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制が整理され、適切に行っているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	利用者等の個人情報を保護するための対策を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	日常点検			毎日実施	毎日実施		
	マニュアル確認(勉強会)			2回	2回		
	避難訓練実施			年2回実施	年2回実施		
	OJT実施回数			12回(月1回)	12回		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1	20
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の安全点検や定期点検を実施し、不具合があったらすぐに館長に報告するなどリスクシナリオマニュアルも随時更新し職員全員に周知徹底しています。そして所管課へ報連相を徹底するなどして、その後どうしていくかの指示を仰ぎました。 ・緊急連絡網に変更があった場合すぐに変更し職員全員へ周知し危機管理体制を整えました。 ・避難訓練を2回実施しました。 ・個人情報の保護の方針、マニュアルも勉強会を通じ職員全員に徹底させ、個人情報漏洩を防ぎました。体育センター利用許可申請書等の書類は、鍵のかかるロッカーで適切に保管しています。 						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の安全対策には配慮されており、また、施設の修繕等、随時実施しており事故防止に取り組んでいる。 ・敷地内の管理についても適切に実施されている。 ・緊急時のマニュアル、緊急連絡網が整備されており、また、個人情報保護のマニュアルも徹底され適切に処理されている。 ・引き続き、緊急時に対応できる体制を図っていただきたい。 						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み	25	25	20
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	12	12
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12
(4) 施設の管理を安定して行う能力	20	20	16
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	20
評価点合計	100	89	80
総合評価		A	A

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価加点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行う能力

《 別 紙 》

④ 財政状況に異常はないか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期
資産総額	4,421,756,420	4,643,723,343	5,186,021,898
売上高	8,529,420,532	9,067,694,570	9,104,891,609
経常利益	668,375,570	674,986,136	703,553,522
当期利益	353,996,949	401,937,690	412,420,970
経常収支比率	108.4%	108.0%	108.4%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借り入れをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期
経常費用	7,910,165,258	8,407,084,868	8,420,142,044
経常収益	8,578,573,828	9,082,053,004	9,123,695,566
経常収支比率	108.4%	108.0%	108.4%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

・売上高も年を経るごとに伸張しており、経常比率についても平成24年度108.4%、平成25年度108.0%、平成26年度108.4%と安定しており、健全な財政状況となっております。